YAWARAGI NEWS
和
やわらぎ

発行所
株式会社斎藤工務店
TEL 0236 (81) 7558
FAX 0236 (81) 7559
発行責任者
斎藤恵美子

技術と心の結晶 豊かな住まいづくり

近年、大手住宅メーカーがこぞってコストを下げた商品を開発し、地方の工務店市場に侵入してきており、工務店業界を営業競争に巻き込み困惑させております。

このような住宅を消費者は果して満足しているのでしょうか。住宅を経済力や営業力で決めてはいけません。大手メーカーが営業力、商品力で注文住宅市場に攻勢をかけても下請けに働いている当用大工は、工務店が永々と育ててきた宝であり、彼等がいるからこそ我国の住宅の発展は保証され、大手企業の発展も保証されているのであります。

工業部材、新建材のみで「人間の住める家」が出来るはずがないのです。住宅はいつの時代になっても現場で働く技術者の「技術と心の結晶」がなければ人間らしい生活環境は創造されないものであります。今、その失われたものを取り戻そうという時代であります。心ある技術者を育て、将来に誇れる豊かな住まいづくりに、社員一同心を一つにして頑張って参りたいと思います。

社長 斉藤和明

我社の自慢施工 お客様より

街の名物建物

山形市緑町三丁目○

霜越英昭

山形市の寿町の近くに前の古い家がありました。建築してから五〇年近くもなる古い建物なので、雨もりがしたり、戸が開らなくなったり、畳がぼろぼろになったりで住んでいるのがやっとの状態でした。そこで新築をしていただく条件は、商売をしているので、店舗兼居宅であり、又、敷地が狭いので三階建にしなければならないことでした。二回、三回と設計を変更してもらい、やっと現在の建物の設計となりました。昨年の五月から、古い建物の解体作業に入り、その後建設が始まりました。夏の暑い時期に工事の方々が一しょうけんめいに仕事をして下さいました。一つの建物を建てるのに、これほどの多くの人の手が必要だとは知りませんでしたので本当に大変なんだなあ、と感心するやら、おどろくやらで大変でした。お陰様でやっと完成してみると、いままでシートでおおわれていた建物本体が目の前に表われると本当にすばらしいものでした。斉藤工務店の皆々様、工事に関係していただいた人々の努力に感謝する気持で一ぱいになりました。

現在は、一階が店舗で二階、三階が住居となっており、鉄骨三階建ですので、保温も十分ですし大変静かです。

又、近所には三階建は二棟しかありませんので三階建の店というので街の名物建物になっています。

斉藤工務店さんに建築をお願いして本当によかったと思っております。ありがとうございました。

店舗前にて霜越様

技術と信頼で躍進するFPグループ。

建物は街の名物建物に

高断熱・高気密住宅
MATSUken FPグループ ― 山形の住空間の新しい流れ ―
快適さ、強さが違うFP工法の家造り
○ 営業部だより …… FPの家3号目、山形市城西町Tの高橋藤男様宅が完成まじか…！ 完成時に現場見学会予定！ "百聞は一見にしかず" 皆様どうぞ！

日本人の住まいと建具

(有)渡辺建具 社長 渡辺豊松

昭和27年頃は、新築する家は全く有りませんでした。外部の建具は大和障子といって雨板が半分障子紙貼が半分で、その障子紙貼の部分に硝子をはめ込む仕事から始まりました。それから昭和三十八年頃から住宅用アルミサッシが出まわりました。それからはアッと言う間に住宅の外部の建具はアルミサッシに一変してしまい私達の仕事も半分はなくなった様なものでした。又内部も洋間が多く化粧ドアが出まわりました。

時代の流れと共に、建具の内容も色々変化しました。私共建具職人になった頃は、

時代が変ったといっても、木造の住宅に関しては襖戸、又は和紙貼り障子が無くては〝日本の住まい〟とは言えないと思います。なぜなら、日本には春夏秋冬があるからです。アルミサッシは気密性があり、暖房、防音に適していると言っても冬になれば結露して困るという様な事もあります。私共の会社で、ある住宅メーカーより依頼を受け木製サッシを考案し製作してみました。カラスはペア硝子、建具は柱、敷居、鴨居に対し組み込み、気密性、暖房、防音に効果があり冬でも勿論、結露は絶対にありませんので大変喜こんで頂きました。やはり「木」がそこに現われてのだと思います。

和紙一枚にしても、今の梅雨の季節には和紙がのびて外の湿気を内に入らないようにし、又天気が良く暑い時には、和紙がピンと張り風通しを良くすると言った様に「木」は日本の四季に適するので、一年を通じて快適な生活が出来るものです。一日の疲れをいやし全ての心を和めいでくれるのは、やはり〜襖戸、和紙貼り、障子ではないでしょうか。住宅には、二間以上は和室を取り心の安らぎを求めてすばらしい人生を送って頂きたいと思います。

研修旅行

金比羅宮前にて

四月二十七日から三泊三日の日程で従業員と協力業者の方々を加え、念願でありました瀬戸の大橋を渡り金比羅宮参拝の幸いに天候もすずすず参加いただいた協力業者の方に感謝致します。

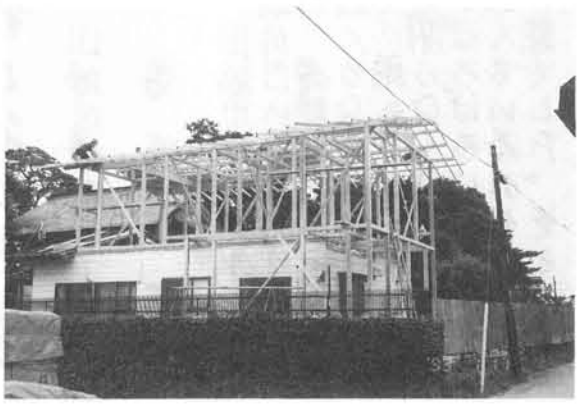
瀬戸大橋にて

四国旅行を実施致しました。

坊っちゃん列車の思い出

山形市城西町　高橋藤男　様邸

山形市陣場　斎藤憲一　様邸



山辺町山辺　佐藤好則　様邸

山形市清住町　三浦道美　様邸

編集後記

お陰様で10号をお届けすることができました。1,000部を発行しておりますが多くの方々のご意見と、心あたたまるはげましをいただいて現在に至りました。多くの方々の声を紙面に反映していきたいと思っております。